

伊藤 正信 議員



## ごみ袋未納問題は在庫管理に課題があったのではないかと

問

ごみ袋未回収問題（関連記事3面）について聞く。

(1) 市はどんな状況でこの問題が発生したのか。  
(2) 予算は年間使用量を振り返り、翌年度、予算請求するのが原則である。物品管理を市の中で議論したのか。

(3) 契約について聞く。  
(4) （在庫）繰越の掌握状況必要量の対応の仕方に課題があったのではないかと。

### 今後、請求・納品段階で検品する

答 市長

(1) 製造業者の倒産が引き金になったとはいえ、数年来の在庫管理、検品が甘く、市民に多大な迷惑と心配を

かけ、厚くお詫びする。

二度と起こさないよう、職員に公金支出に対し、基本に立ち戻るよう徹底した。  
(2) 金の流れが二重、三重にチェックされることが、望ましいと思っている。

答 副市長



(3) 海部地区環境事務組合で一括して入札を行っており、落札後、各市町村が独自に個別契約して発注、納品している。  
(4) 発注量、在庫量をきち

んと精査してこなかったことに大きな原因がある。

業者に（在庫保管を）依頼していたが、（適切な在庫上限目安の）6カ月の在庫を持ったとしても、かなりの量になる。他市町も業者責任で預けていたのが実態だった。

今後は、請求段階で製品ができているか、（倉庫に）預ける段階で検品していく格好で進める。

### 物品調達一元化の成果は

問

物品調達の入札業務の一元化について、どんな成果があったのか。  
地域業者の育成も検討してほしいがどうか。

### 定価比46%の落札率である

答 総務課長

22年度から、文房具について年間購入予定数量を調査し、年度当初に市一括で単価契約を行っている。  
24年度は50品目、対定価比約46%の落札率だった。消耗品の購入は、必ず市内業者が参加している。

### 希望者に建設残土の配布を

問

工事で掘り起こされた土を保管管理し、希望者が公平に再利用する取り組みを検討してほしいがどうか。

### ほぼ利用済みだが事例調査する

答 市長

基本的には、ほとんどの土は再利用されている。建設残土は十分調査する必要がある。先進市町の例を確認し、市として対応できるものに対応したい。